

2025 年 6 月 2 日

各 位

株式会社ツーセルと科研製薬株式会社による同種（他家）滑膜間葉系幹細胞
由来三次元人工組織「gMSC®1」に関するライセンス契約の締結について



株式会社ツーセル〔本社：広島県広島市／代表取締役社長：松本 昌也〕（以下、ツーセル）と科研製薬株式会社〔本社：東京都文京区／代表取締役社長：堀内 裕之〕（以下、科研製薬）は、ツーセルが創製した同種（他家）滑膜間葉系幹細胞由来三次元人工組織 gMSC®1 に関するライセンス契約を締結しましたのでお知らせいたします。これにより、科研製薬は日本国内の整形外科領域における再生医療等製品 gMSC®1 の共同開発権、独占的販売権を取得します。ツーセルは、本契約の対価として契約一時金、当該開発に係る開発費用、開発と販売マイルストーンペイメントで最大約 70 億円を受領します。さらに、上市后、売上額に応じたロイヤルティを科研製薬より受領します。

本契約により、ツーセルは国内における初回承認取得を目的とした臨床試験を実施し、gMSC®1 の製造・供給、製造販売承認申請、承認取得のための規制当局対応を担います。一方、科研製薬は、ツーセルと協働して臨床開発を進めるとともに、承認取得後の販売を行います。

ツーセルと科研製薬はこのたびのライセンス契約締結を機に gMSC®1 の臨床試験を早期に開始し世界に先駆けた同種（他家）滑膜由来の間葉系幹細胞を用いた軟骨再生医療の実用化を目指していきます。

以上

同種（他家）滑膜間葉系幹細胞由来三次元人工組織「gMSC®1」について

gMSC®1 は、ツーセルが開発を進めている滑膜由来の間葉系幹細胞（Mesenchymal Stem Cell：MSC）を用い、軟骨再生を目的に創製した再生細胞治療製品です。この製品は、ツーセルが所有している技術および無血清培地（STK®1、STK®2）を用いて創製された同種（他家）MSC の三次元人工組織（スキャフォールド添加を必要としない）であり、軟骨再生に有効な治療法を提供することが期待されています。また、gMSC®1 の研究開発においては、JST（国立研究開発法人科学技術振興機構）、NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）、経済産業省、AMED（国立研究開発法人日本医療研究開発機構）の支援を受けて推進してまいりました。

科研製薬について

科研製薬は、「一人でも多くの方に笑顔を取りもどしていただくために、優れた医薬品の提供を通じて患者さんのクオリティ・オブ・ライフ（QOL）の向上につとめる」を企業理念とし、1948 年の設立以来、医療ニーズに即した医療用医薬品の研究開発を行っています。整形外科領域では特に高いプレゼンスを有しており、主力製品である関節機能改善剤「アルツ」は、変形性膝関節症等の患者さんの症状改善に寄与しています。また、「長期経営計画 2031」に沿って、新規モダリティにもチャレンジしています。

詳細は、<https://www.kaken.co.jp/>をご覧ください。

ツーセルについて

株式会社ツーセルは、2000 年～2003 年の JST プレベンチャー事業「骨・軟骨組織の再生療法チーム」を基盤として、2003 年に起業した広島大学発のバイオベンチャー企業です。再生医療の普及を目指し、体性幹細胞の一種である MSC をターゲットとし、MSC 周辺の培養技術や再生医療製剤の開発に取り組んでいます。これまでに「MSC 用無血清培地 STK®シリーズ」の開発、外傷性軟骨損傷および離断性骨軟骨炎を対象とした同種（他家）滑膜間葉系幹細胞由来三次元人工組織「gMSC®1」の開発を進め国内第 3 相臨床試験を実施して参りました。

ツーセルに関するさらに詳しい情報は <http://www.twocells.com/>をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社ツーセル

経営管理本部

Tel: 082-256-2451

Fax: 082-258-1012

E-mail: website-info@twocells.com